



# ツインシティ倉見地区 まちづくりニュース

第57号

2025.11.6

## 1 まちづくりに関する説明会の内容について

開催日：令和7年9月28日、29日

会 場：倉見地域集会所

参加者：36名（2日間合計）

9月に開催した説明会について、前号のまちづくりニュースで、土地利用方針(案)やまちづくりの進め方をご紹介しました。今号でも、説明会当日の内容について、引き続きご紹介します。

## ツインシティ倉見地区周辺の道路整備状況

### (仮称) ツインシティ橋

- 令和6年度：測量実施
- 令和7年度：詳細設計

### 宮山線

- 平成25年度：事業着手  
(現在、用地取得中)
- 令和15年度：完成（目標）



- 宮山線整備に伴う、寒川北IC周辺や沿道の検討
- (仮称)ツインシティ橋整備に伴う、倉見駅周辺の検討

基盤整備に伴う周辺のまちづくりも検討していきます。

## 新駅開業時期に重要なカギとなるリニア中央新幹線の状況

**新駅実現の大前提** (神奈川県鉄道輸送力増強促進会議の要望に対するJ R東海の回答より)

- ・リニア中央新幹線大阪開業により「のぞみ」の機能がシフトし東海道新幹線のダイヤに余裕が生まれること。

リニア大阪開業の整備目標：最速で令和19年

**神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会※の方針** (令和7年6月2日 同盟会総会決議より)

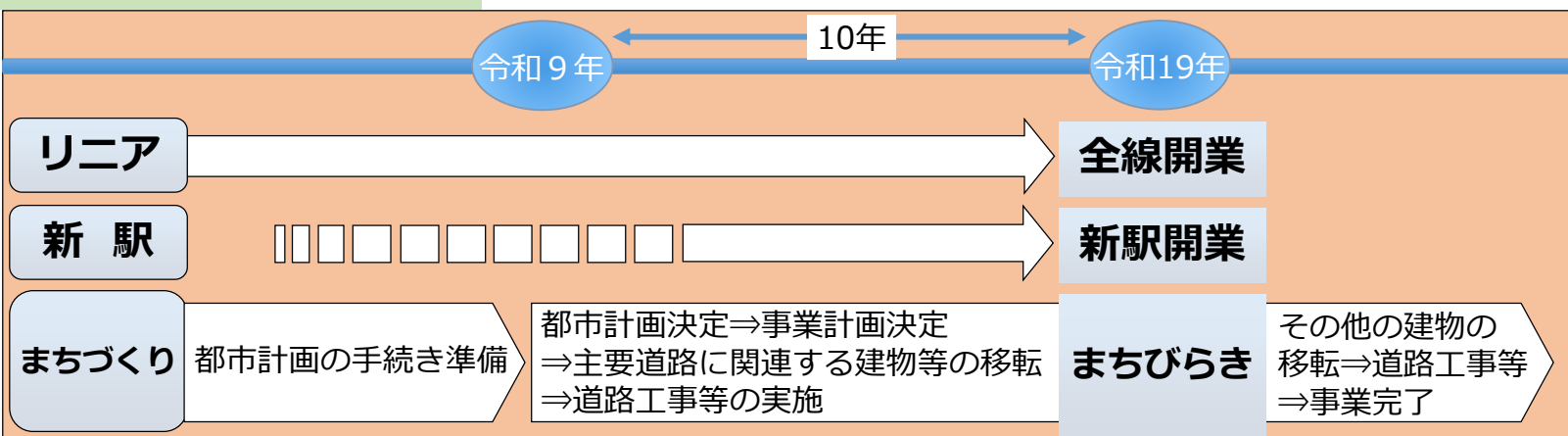
- ・リニア大阪開業（最速で令和19年）と新駅の同時開業を目指す。
- ・令和9年度（新駅開業10年前）を目途に都市計画の手続きが開始できるよう準備を進める。

裏面へ

※同盟会は、神奈川県知事を会長とした県及び町を含む10の市町や経済団体で構成する組織です。

# 新駅開業時期に重要なカギとなるリニア中央新幹線の状況（続き）

## 新駅開業の最速シナリオ



## リニア開業時期へのJR東海の発言

※開業目標：令和9年以降 品川－名古屋間、令和19年 名古屋－大阪間（令和7年9月時点）

- ・リニア品川-名古屋間について「2027年（令和9年）の名古屋までの開業は実現できる状況になく、新たな開業時期についても、（中略）見通すことはできません」（令和6年3月 リニア中央新幹線静岡工区モニタリング会議）
- ・品川－名古屋間の工事と同時に名古屋－大阪間の工事を進める可能性はあるかとの質問に「財務面、工事の遂行能力を考えると不可能」（令和6年8月 記者会見）

リニア中央新幹線の大阪までの全線開業時期が不透明な状況

**リニア全線開業と同時の新駅開業の時期が見通せない状況となっています。**

## 説明会当日の質疑応答

※質問及び回答については要約しています。

**問** 地元の要望などは、都市計画決定前に聞いてもらえるのか。

**答** 地元の合意形成を丁寧に進め、意向把握や説明等を十分に行い、一定の理解が図られた段階で手続きに入りたいと考えています。

**問** まちづくりには莫大な事業費がかかるとのことだが、土地区画整理事業の場合、組合施行とされると地権者は責任が取れないため、行政施行でお願いしたい。

**答** 今後も引き続き、皆様への説明の機会等を設けながら、まちづくりの事業手法を決めていきたいと考えています。

**問** 相鉄いずみ野線の倉見までの延伸も併せて検討していただきたい。

**答** 現在、延伸について湘南台から慶應義塾大学SFCまでの区間が検討されています。倉見までの延伸も念頭に置きながら、まずは新駅の取り組みを進めていきます。

**問** 事業の目途が立たず、町に財源もないのであれば、県などの他の自治体に施行してもらえばよいのではないか。

**答** 駅設置を前提とした土地利用を図るためには、新駅の開業時期を見据える必要があります。地元の方々の生活を考えると慎重に取り組むを進めざるを得ません。地元自治体である町が事業に取り組みますが、財源については、新駅の広域的役割や県民サービスとしての視点から、県に相応の負担を求めています。

編集・発行：寒川町 町長室 倉見拠点づくり担当

〒253-0196 寒川町宮山165番地

TEL 0467-74-1111（代表） FAX 0467-75-9906



過去のニュース  
はこちらから